

文化
情報
Himeji Cultural Information

姫路 5 2025

K U R U M A T A N I

C H O U K I T S U



撮影：北村泰生

没後 10 年

作家 車谷長吉

「没後10年 作家 車谷長吉展」

姫路市出身者でただ一人の直木賞作家・車谷長吉

(1945-2015)の没後10年を記念した

特別展「没後10年 作家 車谷長吉展」が開催中です。

平成の世に現れ「最後の私小説作家」と呼ばれた

異色の作家。その波乱万丈の生涯と無二の作品世界の

魅力について、担当学芸員の

竹廣裕子さんに聞きました。



妻の高橋順子さんと、姫路市北原にあった
お気に入りの店「ふみ」の前で(2007年6月)
撮影：北村泰生

26歳でデビューされました。

1945年に姫路市の飾磨区下野田に生まれ、市立飾磨高校から慶應義塾大学文学部に進学し、25歳から書きはじめました。「なんまんだあ絵」で鮮烈なデビューを果たしますが、その後はボツが続き、東京の生活を捨てて帰郷。お母さんの「あんたみたいなあかんべこは旅館の下足番にでもなりなッ!」の言葉をかなり重く受け止め、当時、忍町にあった「みかしほ調理師専門学校」で学び、岡町にあった料理旅館「紅本陣」の下足番に。それから7年間は関西各地の料理屋を転々としながら執筆を続けました。

辛い時代が長かったのですね。

書いても書いてもボツが続き、それでもあきらめませんでした。ようやく書き上げた「萬蔵の場合」が芥川賞候補になりますが受賞は叶わず、これを機に38歳で再び上京し、昼間は会社勤め、夜は執筆という日々が続きます。43歳のとき、後に妻となる詩人・高橋順子さんの一篇の詩に深く感銘を受け、高橋さんに絵手紙を送り始めます。

実際に2人が会うのは2年後のことです。その後、「書肆とい」を営む高橋さんに「自費で、最初で最後の小説集を出したい」と依頼し、そのために書き上げたのが「鹽壺の匙」でした。生涯のテーマとしながらもずっと書けずにいた、自身の叔父を題材にした物語です。ところが「新潮」に掲載が決まり、単行本出版の話まで持ち上がり、高橋さんの勧めもあって、悩んだ挙句、新潮社から出版することに決めました。この作品が芸術選奨文部大臣新人賞と三島由紀夫賞をダブル受賞、47歳にして一躍、文壇の注目を浴びたのです。

1998年に直木賞を受賞。その作品は。

関西時代に住んだ尼崎を舞台にした「赤目四十八瀧心中未遂」です。執筆中に心のバランスを崩し、強迫神経症を患う中で書き上げた長編でした。

じつは受賞直後、車谷さんに初めて連絡をとり、講演の依頼をしたんです。すぐにハガキが届いたのですが、そこには「姫路文学館とは関わりを持ちたくありません。悪う思うて下さい。」と。当時の日記にも「野ッ体糞悪い。」と書かれてしまい… 当館と車谷さんとの関係は最悪の状況から始まったのです。

でも2002年に姫路文学館夏季大学で講演されています。

車谷さんの従兄にあたる写真家の故北村泰生さんが、時間をかけて、当館との間を取り持ってくださいました。総合文化雑誌『BanCul』の



『車谷長吉全集』第1～3巻
(2010年 新書館)
第4巻は姫路文学館で
先行販売されています



『鹽壺の匙』



『赤目四十八瀧心中未遂』
寺島しのぶ主演で2003年に映画化。
04年に姫路市市民会館で上映会があり、
車谷さんと荒戸源次郎監督の対談も
行われました



高橋順子さんに初めて送った絵手紙(右)
(1988年9月)。以来、ひと月に1枚ずつ
描き送りました。展覧会では計11通の絵手紙を、
高橋さんからの返信とあわせて展示しています

インタビューも受けてくださり、その後はひんぱんに電話で話すようになりました。

あるとき「恋文絵を探してほしい」と頼まれました。料理屋の下働き時代、東京の女性に99通の絵手紙を描き送っていたのです。「それが見つかったら展覧会ができますね」と話していました。1年ほどかけて女性の居場所を探しあて、さらにその1年ほど後、女性の手元に71通の恋文絵が現存していることがわかりました。絵手紙どころが多くをさらけ出してくださった特別展は2007年に開催しました。

特別展「作家車谷長吉。魂の記録」ですね。 今回は18年ぶりの展覧会です。

車谷さんは2015年に69歳で急逝され、昨年、高橋さんから東京・千駄木のお宅に遺されていたおよそ2,200件の資料をご寄贈いただきました。書斎にあった愛用品、蔵書、ノートや原稿類、書簡類、大きな張りの犬など縁起物のコレクションもあります。題材のディティールを求めている車谷さんのために、お母さんが自身の家族の記憶を書き送っていた手紙もありました。前回より多面的で、より真実に迫る展示になっています。

展覧会のみどころは。

すべてをさらけ出してくれる作家はそうそういませんが、車谷さんは「恥ずかしいから処分しよう」と思うような、いわゆる「黒歴史」的なものも全部残しているんです。生真面目でわがままで臆病で、虚栄心ばかり強かった少年が、いかに無二の文学世界を築き上げる文士となっていたのか。「毒虫」と自称した異形の作家像、鬼気迫る作品世界からは想像できないような繊細さと純粋さを秘めた実像を、つぶさに感じ取っていただけたと思います。

車谷作品を読むと人間の「業」を感じるというか、 あえて覗き込みたくない沼のような心の暗部に放り込まれる 心持ちがします。

一般に広く受け入れられる作品かと問われると、決してそうではないと思います。どの作品も「虚」と「実」が巧みに絡み合っていて、単なる私小説ではないのです。さらに、車谷さんいわく「骨身に沁みた言葉」だけで綴られており、一語一語へのこだわりが際立っています。まさに車谷さんが歩んできた長く孤独な道のりが生み出した文体といえます。

チラシとポスターには自筆の「生きることはむごいな。」の言葉を使用しました。この言葉に込められた万感の思いを感じつつ、作家として生き切った本物の文士のありようを感じてほしいと思っています。



姫路文学館夏季大学で講演する
車谷さん(2002年8月)



小学3年生のときに書いた絵。叔父が営む「車谷呉服店」が
あった山陽電車飾磨駅前の商店街を描いたもの。
駅前での暮らしはのちに作品の題材になりました

特別展

「没後10年 作家 車谷長吉展」

6月22日⑤まで 10:00~17:00

一般800円、高・大生460円、小・中生220円

月曜日休館

※ただし5月5日(祝)は開館、5月7日(水)は休館

■展示解説会

5月17日⑤ 第1回「誕生から料理人時代の終わり(37歳)まで」

6月7日⑤ 第2回「再上京後の作家活動(38歳以後)」

いずれも13:30~15:00 無料 定員先着150名

■「抜髪」朗読会

母が話す播州弁の語りのみで綴られた伝説の作品を、劇団プロデュース・Fの小林みね子さんが朗読します。

6月21日⑤ 14:00~15:30

要観覧券(半券可) 定員先着150名

■5月のその他の催し

●「国際博物館の日」無料開放

5月18日(日)は常設展の観覧が無料になります。常設展のボランティアガイドや、参加者に記念品を進呈するクイズラリーも実施します。

●姫路文学館友の会 第1回研修講座

「兄・井上通泰と和歌」

東京学芸大学教授で柳田國男・松岡家記念館顧問の石井正己さんを講師に迎えます。

5月24日⑤ 13:30~15:00

500円(姫路文学館友の会会員は無料) 定員先着100名

問 姫路文学館 079-293-8228

CHECK 今年度の展示会

姫路文学館では「文学」そのものに焦点をあてた展覧会のほか、「文学」の視点からサブカルチャーをみつめる展覧会も開催。今年度も話題の展覧会が続々と登場します。

特別展「創刊50周年記念 花とゆめ展 in 姫路」 7月5日⑤~9月15日⑥

1974年創刊の少女まんが雑誌『花とゆめ』(白泉社)の50周年を記念した展覧会です。「ガラスの仮面」「スケバン刑事」「パタリロ!」「フルーツバスケット」「花ざかりの君たちへ」など数々の名作を生み出し、読者だけでなく社会にも影響を与えてきた50年の歴史を、歴代作家74名の原画約200点などでたどります。



©美内すずえ/白泉社

特別展「『十二国記』山田章博原画展」

9月27日⑤~12月14日⑥

1991年刊行の『魔法の子』から始まった小野不由美の名作『十二国記』。壮大な異世界ファンタジーの世界を繊細かつ躍動感あふれる筆致で描き続けてきた山田章博の装丁、挿絵原画、アニメ設定画、ラフ画など約300点を一堂に展覧します。



『十二国記』画集《第一集》久遠の庭

装画 2014年

©山田章博/小野不由美/新潮社

企画展「戦時下の大衆文化展」

2026年1月17日⑤~3月29日⑥

厳しい言論統制と過酷な処分で規制されていたとイメージされがちな戦時下の文化ですが、戦争へと突き進む政治的混乱の中においても変化し続けました。外地(満州、上海など)への移住者らによる刊行物などを手がかりに、その実態を問い直します。

問 姫路文学館 079-293-8228

アクリエひめじ

大ホール

Psycho le Cému presents 姫路シラサギROCK FES 2025

[DAY1]の出演はPsycho le Cému、PENICIL-LIN、SHAZNA、アンティック-珈琲店-、DEZERT。[DAY2]はPsycho le Cému、氣志團、ゴールデンボンバー、キズ、ENVii GABRIELLAが出演します。

DAY1:5月2日(金) 14:00~

DAY2:5月3日(祝) 13:00~

11,000円(当日13,000円)他

問 YUMEBANCHI(大阪) 06-6341-3525

第28回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合



フレッシュな学生バンドから熟練味あふれる社会人バンドまで、播磨地域で活動する12団体が出演します。フリーアナウンサー・三浦紘朗さんの司会もお楽しみに。

5月5日(祝) 10:30~

1,000円(全自由席)

問 パルナンスホール 079-297-1141

劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』



撮影:阿部章仁

美しく移り変わるカナダの大自然と人々の愛の中で、心豊かに成長していくひとりの少女の物語。「世界最高のアン」と称された舞台をお届けします。

5月6日(休) 18:00~

S席10,000円 ※残席わずか

A席8,000円、B席5,000円(全席指定)

※3歳未満は入場できません。公演当日3歳以上は有料です。(膝上鑑賞不可)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

松平健・中村美津子 スペシャルコンサート2025

5月8日(木) ①14:00~ ②18:00~

7,500円

問 グリークス 06-6966-6555

緑黄色社会 Channel U tour 2025

5月10日(土) 18:00~

7,400円

問 キョードーインフォメーション
0570-200-888

中村勘九郎 中村七之助 新緑歌舞伎特別公演2025

七之助が高尾太夫を演じる「高尾懺悔」、勘九郎がすっぱ(スリ)の九郎兵衛を演じる「太刀盗人」を上演するほか、中村屋ファミリーによる「トーク&ミニ歌舞伎塾」も。

5月16日(金)

①11:00~ ②15:00~

①S席8,800円、A席6,800円、B席4,800円
車椅子席8,800円

②S席7,800円、A席5,800円、B席3,800円
車椅子席7,800円

問 サンライズインフォメーション
0570-00-3337

Osaka Shion Wind Orchestra ドラゴンクエストコンサート in 姫路

5月17日(土) 15:00~

S席5,500円、A席4,500円

問 キョードーインフォメーション
0570-200-888

播磨国吹奏楽団演奏会

『広がる吹奏楽の世界』



原田慶太楼
©Claudia Hershner



篠崎史紀



松田華音
©Ayako Yamamoto

姫路から阪神間のプロ奏者で構成される「播磨国吹奏楽団」の演奏で、クラシックの名曲の魅力を再発見。ソリストに篠崎史紀さん(ヴァイオリン)、松田華音さん(ピアノ)を迎え、リムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェヘラザード」、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番を演奏します。指揮は原田慶太楼さんです。

5月24日(土) 15:00~

一般3,000円

高校生以下1,000円(全席指定)

問 パルナンスホール 079-297-1141

姫路歌謡コンサート

鳥羽一郎、山川豊、神野美伽、木村徹二の出演です。

5月26日(月) 11:00~

S席7,000円、A席5,000円

問 グッドラック・プロモーション
0570-030-707

中ホール

姫路ウインドアンサンブル 第36回定期演奏会

第1部で「天国の島」「エルザ大聖堂への行列」他を、第2部では大阪万博にちなんで世界の名曲の数々を演奏します。

5月11日(日) 14:00~

無料(要整理券)

問 姫路ウインドアンサンブル
info@himeji-wind.com

田中佑生大 ワンマンライブ ROAD OF THE TEPPEN

姫路市出身のシンガーソングライター・田中佑生大(ゆうき)さんの単独ライブです。

5月17日(土) 15:00~

A席(指定席)一般5,000円、高校生2,000円、小・中生1,500円

B席(自由席)一般4,500円、高校生1,500円、小・中生1,000円

問 オフィスタマシダ 070-9117-9566

田中彩子 ソプラノリサイタル

ソプラノより高い「ハイコロラトゥーラ」の音域を軽やかに歌い、百年に一人の逸材と称されるソプラノ歌手・田中彩子さんの演奏会です。公募による「田中彩子さんと歌う合唱団」が共演します。

5月24日(土) 14:00~

一般5,000円、高校生以下2,500円

問 姫路労音 079-290-5522

小ホール

魚住愛佳 サクソフォンリサイタル 女性作曲家を称えて

5月17日(土) 18:30~

一般2,500円、学生1,500円(当日各500円増)

問 aikau.saxophone@gmail.com

文化講座

問 アクリエひめじ 079-263-8082

風土記の伝承と播磨の古代

5月6日(水) 14:00~15:30

会議室407

500円(年間10回3,000円) 定員80名

講師/岸本道昭

(播磨学研究所事務局長兼研究員)

日本近世絵画の読み方Ⅲ

5月8日(金) 11:00~12:00

会議室403

500円(年間10回4,000円) 定員40名

講師/橋本寛子(神戸大学文学部非常勤講師)

城郭と歴史文化に親しむための 入門講座

5月8日(金) 14:00~15:30

会議室403

500円(年間10回3,000円) 定員40名

講師/堀田浩之(元県立歴史博物館職員)

邦楽の愉しみ

5月21日(水) 11:00~12:00

小ホール 500円 定員80名

講師/新福かな(箏曲家)

落語の愉しみ

5月29日(土) 14:00~15:00

スタジオ1 500円 定員80名

講師/月亭秀都(落語家)

舞台芸術鑑賞講座vol.2
「北村明日人 ピアノリサイタル」
5月31日(土) 14:00～
小ホール 1,000円 定員150名

パルナソスホール

姫路市立飾磨高等学校
第49回吹奏楽部定期演奏会
5月4日(祝) 14:00～16:00 無料
問 市立飾磨高校 079-245-1121

市立高校OB吹奏楽団 演奏会
5月5日(祝) 14:00～16:00 無料
問 三木 090-1711-5587

パルナソス 朝のハーモニー No.252
2台ヴァイオリンとピアノで紡ぐハーモニー



池田聖香
©Ayane Shindo



藤岡佐恵子



木下実優

池田聖香さん、藤岡佐恵子さん(いずれもヴァイオリン)、木下実優さん(ピアノ)の出演で、シュポア:2つのヴァイオリンのための二重奏曲 Op.67-2、サン＝サーンス:死の舞踏、サラサーテ:ナヴァラ 他を演奏します。

5月10日(土) 10:30～11:30
500円(全席指定)※3歳から入場できます。
問 パルナソスホール 079-297-1141

第27回 姫路パルナソス音楽コンクール
受賞記念
コンチェルト in パルナソス



廣畑きらり
©Ayane Shindo



小川葉奈



日本センチュリー交響楽団 ©井上嘉和

昨年6月に開催した「姫路パルナソス音楽コンクール」の第1位受賞者、廣畑きらりさん(サクソフォン)と小川葉奈さん(ソプラノ)が日本センチュリー交響楽団と共演します。曲目はL.E.ラッシュン:サクソフォン協奏曲 Op.14、ベッリーニ:オペラ《夢遊病の女》より「ああ、信じられないわ」他。指揮は西谷 亮さんです。

5月18日(日) 14:00～
2,500円(全席指定)
問 パルナソスホール 079-297-1141

募集中

詳細は
パルナソスホール
ホームページで
ご確認ください



バロックダンス講習会 受講生

湯浅宣子さんの指導で、17～18世紀にヨーロッパの宮廷で踊られたバロックダンスを学びます。

6月8日(日)
[クラス1] 13:00～14:15
基礎ステップ/サラバンド・ガヴォット・ジグ
[クラス2] 14:30～15:45
サラバンド・ガヴォット
[クラス3] 16:00～17:15
ガヴォット復習と舞踊譜
1クラス2,000円 定員各12名程度
※5月22日(木)までに申込

オルガン講座「1日体験」受講生

長田真実さんの指導で、楽器の女王・パイプオルガンを体験します。鍵盤楽器の経験は問いません。

7月12日(土)
[A 小・中学生] 13:00～14:30
[B 小学生以上どなたでも] 15:00～16:30
2,200円 定員各6名程度
※5月14日(水)から6月18日(水)までに申込

第25回 上田晴子ピアノスクール 「マスタークラス」受講者

上田晴子さん(パリ国立高等音楽院室内楽科教授、ピアノ科准教授)によるソロ・アンサンブルの公開レッスンです。室内楽の音楽づくりなど、技術面だけでなく演奏家としての心構えや音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニックです。

7月25日(金)～28日(日) いずれも10:00～
ソロ12,000円、アンサンブル15,000円
定員各6名
※5月16日(金)までに申込(必着)

姫路キャスパホール

兵庫県立姫路西高等学校
ギター・マンドリン部

第23回定期演奏会
U.ボツキアリ:彷徨える霊、久保田孝:幻想曲
第1番イ短調 作品22 他を演奏します。
5月4日(祝) 14:00～16:30 無料
問 県立姫路西高校 079-281-6621

第49回
兵庫県立姫路商業高等学校吹奏楽部
定期演奏会
第1部「大曲ステージ」で「さくらのうた」「北の鳥たち」他を、第2部「J-POPステージ」では「嵐メドレー」「かわいいだけじゃだめですか」他を演奏します。
5月6日(休) 13:30～15:00 無料
問 県立姫路商業高校吹奏楽部 079-298-0437

姫路シネマクラブ

第169回例会「本日公休」

台中の下町で理髪店を営むアールイ。離れた町から通い続ける常連客が病に倒れたことを知ると、店に「本日公休」の札を掲げて愛用の道具を携え、古びた愛車で客のもとへ向かう。

5月16日(金) ①11:00～ ②14:00～
③16:30～ ④19:00～
17日(土) ①11:00～ ②14:00～
入会金500円、会費(2カ月分)1,000円 ※会員制
問 姫路シネマクラブ 090-1028-7052

2025新人演奏会(大学推薦)

音楽大学でピアノや管楽器などを学び、この春に卒業した姫路地区出身の音楽家が出演します。

5月18日(日) 13:30～16:00
1,500円
問 文化堂 新人演奏会事務局 079-281-5555

真田ナオキ Special Concert

5月24日(土)
①13:30～ ②17:00～
一般6,600円、小・中・高生3,000円
問 ライブアットマーク 090-3879-4655

第18回 姫路西高校音楽部 ジョイントコンサート

県立姫路西高校音楽部とOB合唱団の「コーラル・ダムール」、地域の合唱団が集う演奏会。各団体の合唱や創作ミュージカルを披露します。

5月25日(日) 13:30～16:30
無料
問 県立姫路西高校音楽部 079-281-6621(植村)

懐かしの洋楽ヒットパレード 第29回

～初夏！わくわくドキドキした洋楽～
オールディーズやスクリーンミュージックなど、素晴らしい音楽を生み出した洋楽黄金期。現在も色褪せない永遠の名曲を、元ラジオ関西アナウンサー・三浦紘朗さんのトークと共にお届けします。今回は、爽やかな初夏を感じさせる曲や、来たる暑い夏に負けないホットな曲をお届け。懐かしいあの時代に戻ったようなひとときをお楽しみください。

5月29日(木) 14:00～
800円(全席指定)
問 姫路キャスパホール 079-284-5806

第33回 日本歌曲の調べ ～北原白秋生誕140年、山田耕筰没後60年に寄せて～

5月31日(土) 14:00～16:00
1,500円
問 姫路オペラ協会 079-293-4246(成尾)

藤原正彦姫路文学館長 講演会

「明治に学ぶこれからの日本」と題して講演します。

6月1日(日) 13:30～15:00
無料 定員300名
※5月13日(火)までに申込(必着)
問 姫路文学館 079-293-8228

市民ギャラリー

アートホール

第11回 イーグレ朗読会

第1部は後藤昌代さんが東直子『とりつくしま』より「レンズ」を、第2部はグループで芥川龍之介『お富の貞操』を朗読します。

5月9日(金) 14:00～ 無料

問 朗読いずみウェスト

079-294-0220(山本)

第十六回 大手前寄席

三遊亭楽団治一門会が出演する落語会です。演目は「断捨離ウォーズ」「お国訛り」他。

5月11日(日) 13:00～

500円

問 楽の会 090-7093-8874(古森)

展示室(観覧無料)

姫路城新能展

筒井康夫さんによる能面と、横田 実さんによる絵画を展示します。

5月10日(土)～18日(日) 10:00～17:00

第1・第2展示室

問 姫路新能奉賛会(お城とリスの会)

079-281-6800

姫路・ゆめタウン姫路2会場合同 教室作品展

5月22日(木)～25日(日) 10:00～17:00

特別・第3・第4展示室

問 神戸新聞文化センター姫路KCC

079-281-7566

第6回 洋画 城の会 作品展

姫路市立好古学園中学校、生涯学習中学校のOBによる作品展です。

5月27日(火)～6月1日(日) 9:30～17:00

※初日は12:00～

第4展示室

問 洋画 城の会 079-232-4767(横野)

みずの彩り ～「松島佳子・作品展」

5月28日(水)～6月1日(日) 10:00～17:00

第3展示室

問 松島 090-9059-3611

そのほか

ひめじアーティストフェスティバル

木工、陶芸、ガラス、皮革など169名のものづくり作家が全国から集うイベントです。出展作家による実演やワークショップのほか、フードブースもあります。

5月10日(土) 10:00～17:00

11日(日) 9:00～16:00

シロトピア記念公園 入場無料

問 ひめじアーティストフェスティバル実行委員会

090-2593-5617

プラネタリウムCDコンサート

「プラネ de リラックス2025」

ゆったりとした音楽とともに星空を楽しむコンサート。プラネタリウム担当者が心をこめてお届けします。

5月11日(日) 13:50～

姫路科学館 プラネタリウム

一般600円、小・中・高生210円

問 姫路科学館 079-267-3001

第54回 姫路城新能

能「松風」、狂言「文山立」、能「舍利」を上演します。

5月16日(金) 18:00～

姫路城 三の丸広場 ※雨天時は姫路市市民会館 無料

問 姫路新能奉賛会 079-281-6800

朗読会「生誕100周年・三島由紀夫」

1950年の金閣寺放火事件を素材にした三島文学の代表作『金閣寺』を朗読します。

5月24日(土) 13:30～15:00

姫路市立城内図書館 2階中会議室 無料

問 サークルさえずり

079-289-4887(木曜のみ)

書写の里・美術工芸館

079-267-0301 月曜休館

一般500円、高・大生300円、小・中生70円

春季特別展「日本陶芸美術協会 姫路展」 —第12回陶美展作品を中心に—

先に東京で開催された第12回陶美展作品の入選作から、選抜した約70点と5名の人間国宝による特別出品作5点を展示します。

7月13日(日)まで 10:00～17:00

■記念トークショー

「継承から創造へ、陶芸を語る」

出品作家の今泉今右衛門さん(重要無形文化財保持者)、伊勢崎 創さん、清水一二さんが陶芸の魅力を語ります。

5月17日(土) 11:00～12:00

要入館料 定員先着50名

姫路市立美術館

079-222-2288 月曜休館

企画展「大阪・関西万博記念事業

高田賢三展 パリに燃ゆ、永遠の革命児」



©毎日新聞社

姫路市出身の世界的デザイナー・高田賢三の没後初となる大規模回顧展です。「KENZO」ブランドに在籍していた1970～90年代の30年の歩みを中心に、パリからの借用作品や幼少期からのスケッチや自画像、愛蔵品などでその人物像に迫ります。

7月21日(日)まで 10:00～17:00

一般1,500円、高・大生1,100円、小・中生800円

兵庫県立歴史博物館

079-288-9011 月曜休館

特別展「いくさ物語の絵画 —瀬戸内の名品と収蔵コレクション—」

源平合戦などの舞台となった瀬戸内海沿岸各地に収蔵されている名品を集め、館蔵品、寄託品とともに展示します。

6月15日(日)まで 10:00～17:00

一般1,200円、大学生950円、高校生以下無料

平和資料館

079-291-2525 月曜休館

春季企画展「80年前 姫路のまちに

雨あられのように爆弾が降ってきた」

米軍の資料を紐解き、日本の都市空襲について写真やパネルなどで紹介します。

7月6日(日)まで 9:30～17:00

埋蔵文化財センター

079-252-3950 月曜休館

企画展「TSUBOHORI

—発掘調査展2025—」

関ノ口遺跡、姫路城城下町跡など、令和4・5年度に実施した発掘調査の中から主要な調査成果を選びすぐて紹介します。

8月31日(日)まで 10:00～17:00 無料

ギャラリー ランズエンド

079-291-2208 水曜休館

住田高之 個展《ミチトノソウグウ》

渡邊亜紗子 個展《私の中の深い森》

個性的なモノ作りをする2人の作家の個展を2つの展示スペースで同時開催。不思議な布の造形物や、語りかけてくるような陶芸作品を紹介します。

5月10日(土)～18日(日) 13:00～18:00 無料

ぜんかい画廊

090-3263-6316

ねこワールド

5月26日(日)～31日(土) 12:00～15:00 無料

募集

第27回 ひめじ国際交流

フェスティバル ボランティア

大手前公園で開催。さまざまな国の言葉や文化にふれながら国際交流と異文化理解を深めるイベントの準備・運営を行います。市内または近隣に在住が在勤、在学の高校生以上で、国際交流に関心がある方が対象です。

10月26日(日) 10:00～15:00

※5月31日(土)までに申込

問 ひめじ国際交流フェスティバル実行委員会事務局 079-287-0820

（チケット発売中）

スタッフのイチオシ！

PICK UP



ジュニア初の「音楽劇」を披露
創立5周年記念

姫路市ジュニアオーケストラ 第4回定期演奏会

●創立5周年を記念して、公募により決定した語り役と共に「物語」と「音楽」が一体となった「音楽劇」を演奏します。グリーグ作曲の「ペール・ギュント組曲」は第1組曲と第2組曲としての演奏が一般的で、原作の物語に沿った曲順で「音楽劇」として演奏される機会は稀少です。前半はイタリアの「歌心、情熱、輝き」を、ヴェルディの歌劇「運命の力」序曲、チャイコフスキーの名作「イタリア奇想曲」でお楽しみいただきます。ぜひお聞ください。（スタッフY）

7月6日⑩ 14:00～ 一般1,000円、高校生以下500円（全席指定）
アクリエひめじ 大ホール 問 パルナソスホール 079-297-1141



鈴木優人 姫路市ジュニアオーケストラ

©Marco Borggreve



募集

キャストワークショップ
シリーズ

高校生のための戯曲講座
「LET'S WRITE!」

20分の戯曲を書いてみよう！受講生

劇作家・演出家の角ひろみさんが講師を務めます。

6月1日⑩ 13:00～16:45 アクリエひめじ会議室

8日⑩ 10:00～16:45 姫路文学館・アクリエひめじ会議室

7月13日⑩ 13:00～16:45 国際交流センター会議室

21日⑩ 13:00～16:45 国際交流センター会議室

全4回2,000円

定員10名程度

※5月23日（金）までに申込

問 姫路キャストパホール
079-284-5806



令和
6年度

第47回 姫路市芸術文化賞 6人と1団体が受賞

姫路市を中心に芸術・文化活動を通して活躍し、地域文化の向上に貢献した個人・団体に贈る「姫路市芸術文化賞」の受賞者が決定。3月21日にアクリエひめじ小ホールで授賞式を行いました。

（工芸）

立花
江津子
さん

芸術文化大賞



ベルギーでステインドグラス作家としての技術を修得し、50年近く関わって世界的に活躍。国内の学校、美術館、キリスト教教会等に多くの作品を残し、姫路から世界へステインドグラス芸術を発信し続けている。



（吹奏楽指導）

津田
徳隆
さん

芸術文化賞



音楽大学にてホルンを専攻。卒業後は市立中学校の音楽教諭として40年余り音楽教育に携わり、生徒の演奏技術の向上に尽力。指導した吹奏楽部が優秀な成績を収めるなど、姫路の吹奏楽振興に大きく貢献している。

（文芸）

中島
妙子
さん

芸術文化賞



中学校教諭時代から詩作を続け、『姫路文学』の復刊を機に小説の執筆を開始。人の深層を見つめる作風で人間の生命力の強さを描く一方、姫路出身の椎名麟三の作品を一読者として考察するなど文化振興に尽力している。

（交響楽）

姫路
交響楽団

芸術文化年度賞



1974年に結成されたアマチュア・オーケストラ。年2回の定期演奏会のほか、長大なオペラの全曲演奏に挑むなど意欲的な活動を継続している。現在は90名が在籍し、姫路に根づいたオーケストラとして活躍している。

（文芸）

諸井
学
さん

芸術文化年度賞



大学卒業後、家業を継ぎながら執筆活動を続け、同人誌『播火』に実験的技法による独創的な作品を発表。情熱的かつ挑戦的で創意にあふれた作品は文筆を志す者や読者に刺激を与え、播磨地域の文化向上に貢献している。

（フルート）

深江
亮太
さん

芸術文化奨励賞



姫路市出身で、12歳からフルートを始め、高校生管打楽器ソロコンテストなどで優秀賞を受賞。大阪音楽大学に進学し、卒業後はウィーンに留学。帰国後も関西を中心に演奏活動を行うなど、今後の活躍が期待される。

（文芸）

吉田
玉勢
さん

芸術文化奨励賞



姫路市の中学校を卒業後、国立劇場文楽研修生となり、人間国宝の初代吉田玉夫に師事。以後、大阪と東京の本公演や姫路開催の「人形浄瑠璃文楽」などで研鑽を積み、伝統文化を継承する担い手として期待されている。



HYOGO ebooks

「文化情報 姫路」は県内の自治体広報誌や観光ガイドブックなどが閲覧できる「HYOGO ebooks」で配信しています。スマートフォンなどからご利用ください。

Coming Soon

今月発売開始

パルナソス 朝のハーモニー No.253

0歳からの歌とフルートとピアノのコンサート

出演／中西麻梨(ソプラノ)
北野麻里子(フルート)
横谷静美(ピアノ)

曲目／「となりのトトロ」より さんぽ
勇気100%
運動会メドレー ほか

7月12日(土) 10:30～ パルナソスホール

500円(全席指定) ※0歳から入場できます。
一般発売日 5月9日(金) 財団友の会 5月7日(水)

問 パルナソスホール 079-297-1141



中西麻梨



北野麻里子



横谷静美

クラシック音楽謎解きミステリー

音楽探偵バッハの事件録「怪盗モーツァルトのたくらみ」

あるクラシック曲をテーマにした物語の中で、提示される“謎”。観客の皆さんは探偵となって、その謎を解いていきます。クラシック音楽と演劇、そして謎解きがミックスされた新しいエンターテインメントです。

出演／平林之英(音楽探偵バッハ)

城村奈都子(助手・セバスチャン/ピアニスト)

8月3日(日) 14:00～ 姫路キャスパホール

一般2,000円、小学生1,000円(全席指定)
一般発売日 5月16日(金) 財団友の会 5月14日(水)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806



第53回 姫路落語会

出演／桂二豆、桂歌之助、桂吉弥、桂千朝(中入)
桂米團治、桂南光(出演順)

8月23日(土) 14:00～

アクリエひめじ 中ホール

5,000円(全席指定)

一般発売日 5月23日(金) 財団友の会 5月21日(水)

問 姫路市文化国際交流財団 制作チーム
079-289-1108



桂南光



桂千朝



桂米團治

懐かしの洋楽ヒットパレード 第30回 ～大人にあこがれて聞いたメロディ～

司会進行を務める三浦紘朗さんのトークと、皆さまからのリクエストを中心に選曲した懐かしの名曲を楽しむCDコンサートです。姫路キャスパホールの名物公演として10年以上にわたり愛されてきた人気シリーズですが、今回が最終回。ダイナミックなサウンドと、三浦さんの楽しいトークをおもいきりお楽しみください。

リクエストの締切は8月22日(金) 必着です。

9月25日(土) 14:00～ 姫路キャスパホール 800円(全席指定)

一般発売日 5月28日(水) 財団友の会 5月26日(月)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806



チケットのお求めはこちらから▶



◎特に記載のない催しは未就学児入場不可
◎内容が変更となる場合がございます

(チケット発売中)

6月12日(土) 13:00～

懐かしの名作映画 in CASPA 「オズの魔法使」

(101分/1939年/米)

姫路キャスパホール

800円(全自由席)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

7月20日(日) 14:00～

池辺晋一郎芸術監督シリーズ 音楽をのぞいてみよう！ 第9回 メンデルスゾーン

出演／池辺晋一郎(お話)

渡辺紗蘭(ヴァイオリン)

北垣 彩(チェロ)

阪田みゆき(ピアノ)

曲目／オール・メンデルスゾーン・プログラム

ピアノ三重奏曲 第1番 二短調 より

ヴァイオリン協奏曲 小短調 Op.64 より

紡ぎ歌 Op.67-4

春の歌 Op.62-6 ほか

パルナソスホール

一般2,000円、高校生以下1,000円

(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

7月27日(日) 15:00～

NHK交響楽団 姫路特別演奏会

出演／指揮：ヴァレリー・ボリヤンスキー

ピアノ：エヴァ・ゲヴォルギャン

管弦楽：NHK交響楽団

曲目／チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番

変ロ短調 作品23

交響曲第5番 小短調

作品64

アクリエひめじ 大ホール

S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円

25歳以下各半額(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

9月28日(日) 14:00～

オルガンシリーズ Vol.21

山田由希子×山本英助

デュオリサイタル

出演／山田由希子(オルガン)

山本英助(トランペット)

曲目／モーツァルト：幻想曲 へ短調 K.608

P.エベン：「窓」ジャガールの

ステンドグラスより

IV.レヴィ「金の窓」ほか

パルナソスホール

一般 2,000円、高校生以下1,000円

(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

文化 姫路
情報 姫路
5月号 Vol.458 発行 姫路市

編集 姫路市文化国際交流財団
〒670-0836 姫路市神屋町143番地2
TEL.079-289-1108 FAX.079-289-8181

情報をお寄せください「文化情報 姫路」は姫路市内で開催されるコンサート、舞台、展覧会などの情報を中心に掲載しています。催しのタイトル・日時・料金・問合せ先を、開催月から2カ月前の15日(7月開催なら5月15日)までに、お気軽にお寄せください。



最新情報は
姫路市文化国際交流財団の
ホームページで！



姫路市文化国際交流財団 友の会
会員募集中
年会費1,000円 会員期間1年間

